

第4章 国際化推進体制

1 国際化推進体制における役割

現在、国際交流〔協力〕活動は、市民や地域団体など様々な単位及び多様なスタイルで、広範囲に行われています。和光市の国際化を進めるためには、市民、地域団体、企業・研究機関及び市がそれぞれの役割を担い、相互に連携しながら推進していく必要があります。

(1) 市民、地域団体、企業・研究機関等の役割

ア 市民の役割

国際化推進の主役は市民です。市民一人ひとりが多文化共生の意識を持ち、地域社会の一員として生活上における諸問題に関して助け合うことが望めます。

日常生活の中で、自分にできる国際交流や外国籍市民に対する配慮について考えたり、外国人の立場に立って物事を見たりすることが求められます。市内で困っている外国人を見かけたら積極的に声をかけるなど、身近なことから行動に移すことが期待されます。

外国籍市民は、時には出身国が同じ人やコミュニケーションがとりやすい人同士で協力し合うことも必要です。また、外国籍市民は、日本人と同じく和光市にとって貴重な人材です。市政や各種のイベントなどに積極的に参加することが、市民や市全体の国際理解や多文化共生の意識を高めることにもつながります。様々な機会で自国の文化や歴史、自己の経験などを積極的に紹介し、市民同士の交流を深めていくことも必要です。

イ 地域団体の役割

地域における国際交流の担い手であるそれぞれの団体が、積極的に国際交流〔協力〕活動を行いながら、団体間、企業・研究機関及び行政と連携し、地域の国際化に貢献することが望めます。また、和光市国際ネットワークによる活動が盛んになり、和光市国際ネットワークが地域の国際化を効率的かつ効果的に推進する上で中心的な役割を担うことが期待されます。

ウ 企業・研究機関等の役割

市民や地域団体と同じように地域社会を構成している市内の企業や研究機関等も、市民、地域団体及び行政と連携しながら、地域の国際化に貢献する役割を担うことが望めます。地域の国際化に関心を持ち、関連のあるイベントや研修に参加、協力するなど、積極的な姿勢が求められます。また、外国人の雇用者でもある企業や研究機関等は、外国人の日常生活に関して適切な支援を行うことも必要です。

(2) 市の役割

市は、多文化共生社会の実現に向けて、市民、地域団体及び企業・学校・研究機関等との連携・協働による国際化推進施策を通して、国際交流〔協力〕活動を促進し、外国人にも暮らしやすいまちづくりを進めていきます。また、姉妹都市との交流を進め国際化に関する情報を収集し、積極的に市民に公表します。本計画についても周知を行い、国際化推進施策の実施状況及び進捗状況を定期的に報告します。

市内の各公共施設においては、利便性を高め、外国籍市民の利用を促し、行政サービスが適切に提供されるよう整備に努めます。

2 市の国際化推進体制の強化

市は、以下の取組によって国際化推進体制の強化を図ります。

(1) 庁内の国際化推進体制の整備

市役所及び市内公共施設における外国籍市民の対応を適切に行うためには、関係各課所等の緊密な連携が欠かせません。

⇒ 各課所等の連携強化

(2) 市民、地域団体、企業・研究機関及び他行政機関との連携

地域全体で国際化を進めるために、市は、市民や地域団体等と対等な関係で連携・協働する仕組みを整える必要があります。また、他行政機関と連携して地域の国際化を進めていきます。

⇒ ボランティアの育成、組織化及び地域団体の支援

⇒ 近隣自治体、県及び関連機関との情報交換及び相互協力

(3) ICT（情報通信技術）の活用による多言語化・国際交流の推進

ICTは技術改革が著しく、使い手や状況に応じた様々なツールが開発され、全国各地で利活用されています。外国籍市民への有効的な情報共有・発信・交流を行うために、ICTの活用を進めていきます。

⇒ 有効なICTの分析と活用

本計画の推進体制（イメージ図）

